

市や地域での取り組みを紹介します

市は、令和3年度に「大和市認知症1万人時代条例」を制定。認知症があってもなくても、それぞれの望む暮らしを続けられる、認知症とともに歩むまちを目指し、地域包括支援センターとともに、さまざまな取り組みを行っています。

認知症カフェ

もの忘れの心配がある人や家族などを中心に、市民の皆さんが集い、交流できる場で、情報交換や仲間作りができます。市主催のやまとカフェでは、認知症に関するミニ講座や個別相談などを実施しており、前ページのインタビューを受けた川口さんも参加しました。

また、市内9か所に設置されている地域包括支援センターでもそれぞれ特色のある認知症カフェを開催しています。



各カフェ、講座の開催日など詳しくは広報やまとの情報・健康のページに掲載しますので、ぜひご覧ください。

認知症サポーター養成講座

認知症について正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守り支援・応援をする「認知症サポーター養成講座」を開催しています。市内在住・在勤者であれば講座を受講することができます。



同講座の受講者に配付される「認知症サポーターカード」

認知症コンシェルジュ(認知症地域支援推進員)

認知症コンシェルジュは、保健師、看護師、社会福祉士、主任介護支援専門員等の専門職の資格を持った、市や地域包括支援センターに配置されているスペシャリストです。認知症予防や医療、介護など、認知症に関する身近な相談先となっています。認知症コンシェルジュはほかにも事業者向けの研修や若年性認知症当事者の会のサポートなどあらゆる場面で活躍しています。

若年性認知症の自主グループ「わすれな草の会」

「わすれな草の会」は、若年性認知症の本人と家族、支援者が交流や学びを通じて日頃の悩みや喜びを共有する自主グループです。定例会のほか、会員自ら意見を出し合いながら活動の企画などを行っています。



介護者向けパンフレット「かいごのこころ」

在宅で介護を経験した家族会が作成したリーフレット「かいごのこころ」は、これまで介護で経験した思いや学びを掲載しています。「大切な人を介護しているあなたも大切な一人」という思いが込められているこのリーフレットは、保健福祉センターと地域包括支援センターで配布しているほか、市のホームページからダウンロードすることができます。ぜひご覧ください。



特集

認知症とともに歩むまちを目指して

認知症の人の生活や思いを知る

保健福祉センター人生100年推進課認知症施策推進係 ☎(260)5612 ☎(262)0999

皆さんは、認知症に対してどのようなイメージをお持ちでしょうか。「意思の疎通が難しい」「物忘れが激しい」など、ネガティブな印象を持たれがちですが、症状は人によってさまざまです。多くの当事者がさまざまな工夫をしながら、自分の意思で生活を送っています。今号では、認知症と診断されたご本人の声や市と地域の活動などをお届けします。

インタビュー

「まさか」から、「悔やむな」へ

「ああ、どうも！よろしくね」と明るく迎えてくれたのは、市内在住の川口さん70歳男性。4年前にアルツハイマー型認知症であると診断され、今は包括支援センターなどで同じ病気を抱える人たちや職員と交流を深めています。

■受診のきっかけ

妻や周りの人から、行動や話し方が以前と違うから調べたらどうかと言われて。自身、片頭痛のような感覚がありました。警備の仕事が3年間やってきたから、その疲れかなと。あと、記憶力が落ちたとは感じていました。身近に脳溢血で亡くなった人もいたので妻が一生懸命病院を探してくれて、異常が見つかったんです。

■診断を受けて

医師からはアルツハイマー型の初期段階ですと。初期とはいえ、怖いですよ。ずっと症状が続いて進むんだという不安を抱えながら医師にいろいろと聞きました。それまで自分に認知症は全然関係ないと思っていたし、自分も奥さんもまさか、とびつくりしてましたね。

■現在の過ごし方

少しでも症状の進行を遅らせるために毎日薬を飲んでます。家事は奥さんに教えてもらいながら、お血洗いや補助的なことをやっています。

■認知症の不安から気持ちの切り替え

認知症が悪化しているのは、と不安になることもありますが、それでも、このまま嫌だから、認知症と付き合っていくと。どうにかなるさ、悔やむな、と思いつつやっています。

■好きなことを教えてください

昔からフアッションが好きです。あと神輿を担ぐのが好きだな。いろんな地区の応援に行つて担いでいたよ。南林間や福田とか。阿波おどりもまたやりたいね。楽しみは日々変わっていく。くよくよ

■もしかたないからな。

■広報やまとの読者へメッセージ

認知症とともに生きることは、病気を経験している人のさまざまな話をよく聞いてみるのだと思います。みんなが今やっているいろんなことは先代の人たちが苦労して作ってきたもの。経験者の話をぜひ参考にしてみてください。



高校時代は重量挙げで活躍したという川口さん